

VIELEN DANK !



平成 29 年 3 月 31 日

ベルリン日本人国際学校

谷本 忠士

Guten Tag ! 私は 4 月からベルリン日本人国際学校に派遣された、谷本忠士です。海外に派遣された先生方のレポートにもありますが、学校にも生活にも慣れてきたところに回りが少しずつ見られるようになりました。この 1 年間を通して、見えてきた現地の様子を少しお伝えします。

〈ベルリンについて〉

「ドイツの首都」連邦州のうちの一つ。人口約 350 万人で、ドイツ最大の都市。市域の三分の一は森林・公園・庭園・河川や湖で構成されています。

第二次世界大戦後、東西ドイツが分裂、ベルリンも東西に分かれ東側はソ連に、西側はアメリカ・イギリス・フランスの三国に統治されました。

1989 年ベルリンの壁が崩壊。現在では、壁は取り壊され、一部が記念碑として残されています。2014 年は壁崩壊 25 周年でした。



〈ベルリンの気候〉

ベルリンの緯度は、サハリンの中央とほぼ同じですが、偏西風による西岸海洋性気候で、比較的温暖です。日本で言えば、北海道の気候に似ています。緯度が高いため、日照時間の変化が大きいです。

夏は朝 4 時頃から夜 10 時まで明るく、3 月下旬から 10 月下旬まで夏時間が導入されています。気温は 30°C を超える日もありますが、空気が乾燥しているため、暑苦しさをほとんど感じません。

冬はマイナス 10 度以下に下がることもありますが、長時間外に出ていない限り、耐えがたいほどの寒さではありません。朝 8 時頃まで夜が明けない上、夕方 4 時頃には暗くなってしまいます。



〈ベルリン日本人国際学校について〉

ベルリン日本人国際学校は、ベルリン市南西部郊外の緑豊かな環境にある学校です。1993年、ドイツで4番目の日本人学校として本校が誕生しました。全校児童生徒34人と少ないですが、学校目標の「一人ひとりが輝く学校」を目指し、現地では体験できない活動を取り入れながらいきいきと学校生活を送っています。例えば、ベルリンフィルハーモニーの見学やオペラのワークショップといった文化的なものから、スケート活動やヘルタベルリンに所属する原口元気選手に



原口選手とサッカー交流

おいでいただきサッカー交流をするなど、ベルリンでしかできない体験を積んでいます。

本校は隣接する現地校の敷地内にある建物を校舎として借用しています。もちろん、体育館やグラウンド、プールなどはなく、現地校のものや公営の施設を借りて授業や学校行事を行っています。休憩時には中庭でサッカーやおにごっこなどをしますが、ドイツ人の子どもたちと一緒に遊ぶこともあります。まさに、休憩時間が国際交流の時間となる素晴らしい環境にあります。



ベルフィル見学



夏季学校～湖水浴～



スケート活動

〈最後に〉

「海外生活は1年目で目が慣れ、2年目で耳が慣れ、3年目で口が慣れる」とベルリン日本人国際学校の理事の方に教えていただきました。実際に生活してみて、本当にその通りだと感じました。もっともっとドイツの文化や歴史、そして、人々にふれ多くのことを学びたいと思います。